

2014年度
日 本 史
(問 題)

〈H26083316〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

	万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒		3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

- 1 次の文章を読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

日本の神信仰は自然物、自然現象に靈威を認め、呪術により災いを避け、社会の安寧、繁栄を願うものである。それは縄文時代から見られ、呪術に長けた者は司祭者として社会を指導し、権力社会の形成とともに王となった。王の司祭者的性格は、『魏志』倭人伝に「イを事とし、能く衆を惑はす」と記された邪馬台国の女王卑弥呼や前期古墳の副葬品からもうかがえる。古墳時代中・後期になると、各地に祭祀遺跡が増え、やがて自然の靈威は、氏の祖先などとともに、神として社でまつられるようになった。

6世紀代に入ると仏教が伝わった。仏教は支配者層に受け入れられ、ついに「篤くホを敬へ」と説く聖徳太子の憲法十七条や聖武天皇の国分寺建立の詔などに見られるように、政治理念に組み込まれ、権力と結びついて発展していく。そうした中であって、民衆への布教や救済など仏教を通じた社会事業も行われた。

9世紀以降になると日本の神信仰は外来の宗教、思想などと融合し、さまざまな信仰世界を形成していく。奈良時代の仏教と異なり、山岳に修行の場を求めた平安時代の密教と日本古来の山岳信仰とが結びつき、修験道が生まれた。また、自然の災害や疫病の流行を政治的敗者の怨霊そして疫神の祟りとし、それを慰め、鎮めるまつりや、天体現象などから吉凶を占い、呪術により禍を避け福を求めるという、御霊信仰や陰陽道もさかんとなり、貴族の間に深く浸透していった。

問A 空欄イに入る語句はどれか。

1. 吉凶 2. 鬼道 3. 灼骨 4. ト占 5. 亀ト

問B 下線部口としてふさわしくないものはどれか。

1. 銅鏡 2. 金銅製馬具 3. 鉄製農工具 4. 鉄製武器 5. 腕輪形石製品

問C 下線部ハに関し、当時の祭祀遺跡や神社について述べた文として誤っているものはどれか。

1. 太陽、山、川、海、島などがまつりの対象となった。
2. まつりには石製、土製の模造品などが用いられた。
3. 大和の三輪山は山そのものが神体とされた。
4. 玄界灘に浮かぶ沖ノ島の海神は住吉大社でまつられるようになった。
5. 大王家の祖先神である天照大神は伊勢神宮でまつられるようになった。

問D 下線部ニに関し、日本への仏教伝来について述べた文として誤っているものはどれか。

1. 『日本書紀』には、新羅の王仁博士が仏像、經典などを伝えたと記している。
2. 『上宮聖徳法王帝説』には、百済の聖明王が仏像、經典などを伝えたと記している。
3. 『扶桑略記』には、渡来人が草堂を結び、仏像を安置し、帰依礼拝したと記している。
4. 日本に伝わった仏教は北伝仏教の系統に属する、大乘仏教である。
5. 仏教の受容をめぐる、蘇我氏と物部氏との間で争いが生じた。

問E 空欄ホに入る語句はどれか。

1. 三界 2. 三教 3. 三蔵 4. 三世 5. 三宝

問F 下線部へより後の出来事はどれか。

1. 藤原広嗣が乱を起こした。 2. 長屋王が自殺に追い込まれた。
3. 養老律令が施行された。 4. 玄昉が唐から帰国した。
5. 多賀城が設置された。

問G 下線部トに関して述べた文として誤っているものはどれか。

1. 社会事業は善行を積み福德を生むという仏教思想に基づくものである。
2. 僧尼令などの法令により、一般に僧侶の活動は寺院内に限られていた。
3. 光明皇后は貧窮の病人を治療、救済するために施薬院を設置した。
4. 行基は用水施設や橋をつくり、布施屋を設置するなど社会事業を行った。
5. 社会事業により取締りを受けた行基は後に登用され、太政大臣・禪師に任ぜられた。

問H 下線部チに関し、いわゆる南都六宗でないものはどれか。

1. 華嚴宗 2. 三論宗 3. 法華宗 4. 法相宗 5. 律宗

問I 下線部リに関し、密教や修験道について述べた文として誤っているものはどれか。

1. 密教は加持祈禱により幸福をもたらすとして、現世利益を求める皇族、貴族層に受け入れられた。
2. 修験道とは山岳修行により呪力を体得するという信仰である。
3. 修験の舞台として奈良県吉野の大峰山、北陸の白山などが知られている。
4. 山中での修行者を守る八幡神は大日如来の化身とされた。
5. 修法の必要から不動明王像や曼荼羅が描かれ、密教絵画として発達した。

問J 下線部ヌに関して述べた文として誤っているものはどれか。

1. 菅原道真の怨霊は京都の北野神社でまつられた。
2. 春祭や秋祭の他に疫神をまつる夏祭も行われるようになった。
3. 陰陽道は古代中国の陰陽五行説に基づく呪術宗教である。
4. 陰陽寮は律令官制では式部省に属した。
5. 平安貴族たちは物忌や方違などで制約された生活を送った。

2 次の史料Ⅰ・Ⅱ・Ⅲとその解説文を読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

（史料Ⅰ）

安芸国 イ 同心条々事……

……

一 この衆中において、相論の子細出来せば、共に談合せしめ、理非につき合力あるべき事、

一 京都様御事は、この人数相共に上意を仰ぎ申すべき事、

□

……

ハ 応永十一年九月廿三日

小河内

沙弥妙語（花押）

（以下32名の連署を略す）

（毛利家文書）

（史料Ⅱ）

一 自今以後は、御家中の儀、有様の御成敗たるべきの由、おのおのに至りても本望に存じ候、しかる上は、諸事仰せ付けらるべき趣、一切無沙汰を存ずべからざるの事、

……

一 ホ の儀、仕出し候わば、注進を致し、その内は堪忍仕り候いて、御下知に任すべきの事、

.....
天文十九年七月廿日

福原左近丞貞俊（花押）

（以下237名の連署を略す）

（毛利家文書）

（史料Ⅲ）

一 ホ の事、是非におよばず、成敗を加うるべし、.....

（甲州法度之次第）

イ といわれる地方の有力武士は、南北朝時代から室町時代には血縁を根拠とする一族一揆、さらに地縁を根拠とする イ 一揆をしばしば形成し、共同して軍事行動をしたり、史料Ⅰにみられるように、紛争の解決に当たったりした。中世では、一揆といわれる自律的な結合はさまざまなかたちで存在したが、イ たちも例外ではなかったのである。

戦国時代に至っても、戦国大名の家臣たちは一揆のような結合を維持していたが、一方でその自律性をかなりの程度放棄し、主君である大名の支配に委ねるようになる。史料Ⅱは、毛利氏の家臣たちが主君である毛利氏への服属を誓ったものだが、そのなかで、家臣たちの ホ については、その場は我慢して毛利氏の命令に従うことが示されている。これが、分国法である史料Ⅲではさらに進んで、ホ をした場合には理由を問わずに処罰することが示されている。地方武士の自律性は大きく変化しながら、豊臣秀吉による天下統一を迎えるのである。

問A 空欄イに入る語句はどれか。

1. 国人 2. 地侍 3. 名主 4. 管領 5. 公方

問B 下線部ロが指すものはどれか。

1. 将軍家 2. 院 3. 在京中の守護 4. 天皇 5. 在京中の奉公衆

問C 次のa～dのうち、下線部ハの年号の時に起きた出来事でないものが2つある。その組み合わせはどれか。

- a 朝鮮と宗氏との間で癸亥約条が結ばれた。 b 足利義満が明と勘合貿易をはじめた。
c 上杉禅秀が足利持氏に背いて討たれた。 d 土岐康行が幕府に反抗して敗れた。

1. aとb 2. aとc 3. aとd 4. bとc 5. bとd

問D 下線部ニの内容としてふさわしいものはどれか。

1. 主君があるべき統治・裁判をしてくれるのはありがたい。家臣としても主君の命令をゆるがせにはしない。
2. 主君が慈悲深い政治をするように家臣として規制を加えた。主君はきびしい支配をしてはいけない。
3. 主君がその場しのぎの支配・行政をしてくれるので家臣は自由だ。家臣としては主君を監視し続ける。
4. 主君がいかげんな統治・裁判をするのは望むところだ。家臣としては主君の命令に従ってばかりはいない。
5. 主君が家臣の行為を大目に見てくれるのは喜ばしい。主君は家臣を大事にしてほしい。

問E 空欄ホに入る語句はどれか。

1. 訴訟 2. 逃散 3. 下剋上 4. 寄合 5. 喧嘩

問F 下線部ヘと同じ世紀に起きた出来事はどれか。

1. コシャマインらが蜂起した。 2. シャクシャインらが蜂起した。 3. 琉球で三山が分立した。
4. 寧波の乱が起きた。 5. 高山右近がマニラに追放された。

問G 下線部トを制定した人物に関して正しい説明はどれか。

1. 上杉謙信と川中島で戦った。 2. 足利学校を再興した。 3. 桶狭間の戦いで敗死した。
4. 「天下布武」の印章を用いた。 5. 長篠合戦で織田信長に敗れた。

問H 下線部チに関連して、さまざまな一揆についての説明として誤っているものはどれか。

1. 農民はしばしば一揆を結んで、莊園領主に強訴を行った。
2. 柳生の徳政碑文は、正長の土一揆の失敗を嘆いて刻まれた。
3. 播磨の土一揆は、侍の播磨国外への追放を目標に掲げた。
4. 山城の国一揆は、畠山氏の軍勢を山城国外へ退去させた。
5. 加賀の一向一揆は、守護である富樫政親を攻め滅ぼした。

問I 下線部リに関して正しい説明はどれか。

1. 毛利元就は、安芸国守護の家に生まれた。
2. 毛利元就は、フランシスコ＝ザビエルを厚遇した。
3. 毛利輝元は、織田信長に降伏して中国8か国を安堵された。
4. 毛利輝元は、豊臣政権では小早川隆景の死後大老とされた。
5. 毛利輝元は、関ヶ原の戦いで西軍の盟主となった。

問J 下線部ヌがおこなったことのうち、もっとも時期が遅いものはどれか。

1. 海賊取締令の発令
2. 聚楽第の建築
3. バテレン（宣教師）追放令の発令
4. 御前帳・国絵図の徴集
5. 刀狩令の発令

3 次の文とそれに関連する史料を読み、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

私たちは、現代の自分たちの常識が過去の人びとにも通用すると考えがちである。しかし、必ずしも現代の常識と過去の常識とは同じではない。たとえば、私たち現代人は一度契約関係が結ばれれば、それは容易には動かせないものとするのが普通である。ところが、前近代の人びとはそうではなかった。ここでは、江戸時代の百姓の土地に関する觀念について考えてみよう。

通常、百姓が借金をする際、自分が耕作している土地を担保にあて、返済期限までに借金を返さなければ、担保にした土地は貸し主にその権利が移動する。江戸時代、そうした形をとって頻繁に土地の権利の移動が起こった。現代人は、借金の返済ができなかったために担保とした土地の権利が移動したら、それはもう元の権利者には戻らない、と考えるのが普通だろうが、江戸時代の百姓は、返済期限が過ぎても土地の権利が完全に移動したとは考えなかった。江戸時代では、借金の返済期限（年季）を何年に設定するかにかかわらず、借りた元金さえ返済すれば権利が移動した土地でも請け戻すことができる、との慣行が広く存在していた。これを「無年季的 二 請け戻し慣行」という。

これが広く通用していた理由は、土地は個人のものではないという觀念があったからなのであろう。貸し主である上層百姓も村社会全体の利益を考えて、おおむねそうした慣行を受け入れていたため、不安定ながらも百姓がつぶれてしまうことをある程度防ぐことができたといわれる。したがって、この慣行は貧富の差が拡大することに一定の歯止めをかけることができるセーフティネットの役割を果たしていた、と評価する人もいる。

これは幕府や藩がつくったものではないので、村社会の慣行であったといえるが、肥後国天草郡 チ（幕府領であったが、このときは島原藩に預けられていた）では、リ寛政8年（1796）に支配の役所からその趣旨に沿った法が発令された。下記の史料はその一部である。ただし、これは時限立法として出されたものであるため、無年季的の慣行が崩れる端緒でもあった。

〈史料〉

- 一 御田地書き入れ^(注)借用いたし年季切れ候節、直ちに ヌ 売り証文をしたため候たぐいこれ有り候、右 ヌ 売買の儀は御法度に候へども、辺鄙の場所にて先年より心得違ひのままこれまで過ぎ来たり候、右てい証文の分は元錢にて請け返し候よう、……
- 一 二 書き入れ借用錢、ル十か年以來借用つかまつり候分は元錢にて二十か年賦、十か年以前に借用いたし候分は三十か年賦、返済いたし候よういたすべき事

（注）書き入れ：不動産を担保に入れて金銭を借りる契約のこと。

問A 下線部イが登録され、年貢割り付けのもとになる台帳を何というか。

1. 五人組帳
2. 過去帳
3. 宗門人別帳
4. 検地帳
5. 出開帳

問B 下線部ロを意味する語が空欄ニに入る。空欄ニに入る適切な語を選べ。

1. 在方株
2. 手作地
3. 小作地
4. 新田
5. 質地

問C 下線部ハを背景として、1720年代に幕府領で土地返還運動が起こった地域はどこか。

1. 越後国頸城郡
2. 薩摩国伊佐郡
3. 尾張国愛知郡
4. 加賀国河北郡
5. 陸奥国宮城郡

問D 下線部ホは江戸時代後期以降、どうであったか。19世紀の村社会を正しく説明しているものを選べ。

1. 明治政府が実施した地租改正により、地主小作関係は解消された。
2. 高利貸しは、世直し一揆における打ちこわしの標的にならなかった。
3. 共同利用地である入会地が拡大し、個人の土地は減少した。
4. 土地を大規模に集積した豪農が村社会の主導権を握った。
5. 貧富の差は拡大せず、村民が平等に村政に参加する機能は維持された。

問E 下線部ヘの関係について、正しく説明しているものはどれか。

1. 藩は幕府へ務める軍役の負担を、領民から徴収した年貢などで賄った。
2. 17世紀中期以降、戦争が起こらなくなったので、藩が幕府に軍役を務めることはなくなった。
3. 法令の発令権は幕府が握っていたので、諸藩が独自の法を持つことはなかった。
4. 藩の政治は藩に任されていたので、幕府が藩主の相続問題に介入することはなかった。
5. 諸藩がそれぞれの領民から徴収した年貢は、そのまま幕府の米蔵に納められた。

問F 下線部トについて、当てはまらないものはどれか。

1. 庚申待
2. 虫送り
3. 結
4. 村八分
5. 紀元節

問G 下線部チの民政を担当した役人で、美濃・飛騨などに置かれた広域責任者を何というか。

1. 目付
2. 郡代
3. 遠国奉行
4. 大番頭
5. 城代

問H 下線部リより前の出来事はどれか。

1. 異国船打払令の発令
2. 蛮社の獄
3. ラクスマンの来航
4. シーボルト事件
5. グローニン事件

問I 空欄ヌに入る語はどれか。

1. 分地
2. 永代
3. 無高
4. 勝手作
5. 高請

問J 下線部ルの解釈として、正しいものはどれか。

1. 借りてから10年以内の場合に限って、20年賦か30年賦で元金を返済するものとする。
2. 借りてから20年以上経過している場合に限って、30年賦で元金を返済するものとする。
3. 借りてから10年以内の場合は20年賦で、それ以上経過している場合は30年賦で、元金を返済するものとする。
4. 借りてから10年以上経過している場合は、20年賦で元金を返済するものとするが、それ未満の場合は年賦返済を認めない。
5. 借りてから20年以内の場合は10年賦で、それ以上経過している場合は30年賦で、元金を返済するものとする。

次の史料Ⅰ～Ⅴは、ある人物の自伝からの抜粋である。これを読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。

（史料Ⅰ）

明治十五年に陸軍大佐に進み、太政官権大書記官の兼任を解かれたり。之より先即ち十四年に、政治上に一大変動あり。大隈参議が願ひに依り本官を免ぜられて改進黨を組織し、次で明治二十三年より国会を開設すべしとの詔勅を下され、今年より一般行政の取調、中に就て憲法取調の為に、伊藤参議は歐洲に赴き、翌明治十六年に帰朝し、又今年に於て朝鮮の変ありて海防に着手する事となり、引続きて清國が朝鮮に干渉する痕跡をあらはし來れるを以て、軍備を拡張するの必要に迫り、之に就て陸軍の組織も完成せざるべからざる事となれり。

（史料Ⅱ）

明治廿三年は帝国議會開設の歳にして、即ち憲法実施初期の議會なり。我が帝國に初めて憲法を実施せられ、予算を帝国議會に提出して、兩院の協賛を経る事となりしに就て、陸軍財政の整理は、前に述る如き方法に依て成し遂たりと雖も、開闢以来初めて開会せらるゝ議會にして、加ふるに其議會の状況を觀れば、從來政府と在野政治家と衝突の結果としては、何事に拘はらず官民相抵牾するの氣味あり。抑も陸軍軍事費の如きは、陸軍部内の整頓せしと否とに拘はらず、其要求額も最も多額にして非常の決心を以てするに非れば、之を通過せんこと容易の業に非ず。

（史料Ⅲ）

大命は大隈・板垣二伯に下りて内閣を組織せしめらる。大隈伯は固より宿昔の志望なるべく、又自由・進歩の大政党中央合同し、其兩首領が内閣を組織するを得ざる理も非れば、直ちに組織に着手しけれども、陸海軍大臣の候補者には頗る当惑せり。

（史料Ⅳ）

山県侯は愈々内閣組織の大命を奉じて、如何なる決心を以てせしや。兎に角政黨を基礎としたる隈板内閣の後を承けて、身に一人の味方と恃む者もあらざれども、唯侯が平素の地位として、貴族院は無論賛同を得べき見込あり。衆議院は前に云如き情況なれば、解散に次ぐに解散を以てするとも、戦後の経営を全ふし、紊亂したる政黨専横の勢ひを折かざれば、将来國家の安全を保つ能はずとして自ら其衝に當るものなり。

（史料Ⅴ）

山県内閣は同月廿六日を以て総辭職をなしたり。而して後継内閣組織の内命は伊藤侯に下りしが、同侯も素より政黨を組織したりとはいひながら、僅に發会式をなしたるのみにして、未だ内閣を組織する準備もあらざりしならんと想像せり。

問A 下線部イに関する記述のうち、誤っているものを2つマークせよ。

1. 「一大変動」のきっかけは、北海道開拓使官有物払下げ事件にあった。
2. 「一大変動」の背景には、大隈重信と大久保利通らの路線対立があった。
3. 「一大変動」の前から、政黨結成へ向けての動きが展開されていた。
4. 「一大変動」の結果、薩長藩閥勢力の権力が強まった。
5. 「一大変動」後、各地の民権家は私擬憲法の起草に着手した。

問B 下線部ロに関連する記述のうち、誤っているものを2つマークせよ。

1. 地方の豪農商層を中心として結成された。
2. イギリス流の議院内閣制を主張した。
3. 自由黨黨首板垣退助の洋行を批判した。
4. 1884年に大隈重信ら指導部が離黨した。
5. 日清戦争直前に解黨して進歩黨となった。

問C 下線部ハに関する記述のうち、正しいものを2つマークせよ。

1. 日本の支援を受けた勢力がおこしたクーデターである。
2. 清国が介入し、親日派のクーデターを失敗させた。
3. この後、朝鮮の政権は清国への依存を強めた。
4. この後、日本は朝鮮との間で済物浦条約を結んだ。
5. 処理策として、日清両国は天津条約を結んだ。

問D 下線部ニに関連する記述のうち、誤っているものを2つマークせよ。

1. 軍事行政を推進するため、天皇直属の参謀本部を設置した。
2. 軍人勅諭を定め、天皇に対する軍隊の帷幄上奏権を規定した。
3. 陸軍の編成・配置を、従来の鎮台制から師団制に改めていった。
4. 軍事費を確保するため、酒税・煙草税などの増税をおこなっていった。
5. 徴兵令の改正をすすめ、免役規定などを廃止して国民皆兵を確立していった。

問E 下線部ホに関する記述のうち、正しいものを2つマークせよ。

1. 政府が超然主義の立場をとったため、議会に政府系政党は存在しなかった。
2. 予算の先議権があるなど、貴族院の権限は衆議院に優越していた。
3. 衆議院議員の選挙人は、満25歳以上の直接国税15円以上を納める者であった。
4. 議会の同意がなければ予算は成立しない規定となっていた。
5. 予算不成立の場合、政府は前年度の予算を執行することができた。

問F 下線部ヘに関する記述のうち、誤っているものを2つマークせよ。

1. 第1議会で第1次山県内閣は自由党の一部を切りくずし、予算を成立させた。
2. 第2議会で第1次松方内閣は、民党の予算案減額要求と衝突し、衆議院を解散した。
3. 第2回総選挙で第1次松方内閣は大々的な選挙干渉をおこない、民党に勝利した。
4. 第4議会で第2次伊藤内閣は、天皇の詔書の力も得て予算を成立させた。
5. 立憲改進黨が政府に接近したため、自由党は他勢力と連合して政府を攻撃した。

問G 下線部トの内閣に関する記述のうち、誤っているものを2つマークせよ。

1. 自由党と進歩党の合同によって結成された憲政党を基礎とした。
2. 陸・海軍大臣以外の閣僚が政黨員からなる最初の政党内閣であった。
3. 大隈重信が内閣総理大臣、板垣退助が外務大臣をつとめた。
4. 文部大臣尾崎行雄は、共和演説事件によって辞職した。
5. 憲政党の分裂によって退陣し、旧自由党系は憲政本党を組織した。

問H 下線部チの内閣に関する記述のうち、誤っているものを2つマークせよ。

1. 軍に政党の影響が及ぶのを防ぐため軍部大臣現役武官制を定めた。
2. 政黨員の官吏任用を制限するため、文官分限令を制定した。
3. 衆議院議員選挙法を改正して、選挙権の納税資格を引き下げた。
4. 義和団事件に対して、欧米列強とともに軍隊を派遣した。
5. 憲政党の反対をおさえて地租増徴案を成立させた。

問I 下線部リの政党に関連する記述のうち、誤っているものを2つマークせよ。

1. 結成には自由民権運動以来の旧自由党系勢力が参加した。
2. 第2代総裁西園寺公望は、のちに元老となった。
3. 大正政変後に成立した第1次山本内閣では野党となった。
4. この政党の総裁が組織した内閣のもとで、普通選挙制度が実現した。
5. この政党が組織した内閣が、第二次世界大戦前で最後の政党内閣となった。

問J 史料の筆者は首相をつとめたが、これに関する記述として正しいものを2つマークせよ。

1. 第1次内閣の時、日英同盟協約を締結した。
2. 第1次内閣の時、アメリカ側と協定を結んだ。
3. 第2次内閣の時、ポーツマス講和条約に調印した。
4. 第2次内閣の時、韓国に統監府をおいた。
5. 第3次内閣の時、韓国を併合した。

5 次の文章I・IIを読んで、下記の設問(A～J)に答えよ。

I 19世紀末には工場制工業が盛んになり、資本主義経済が発展し始めた。それに伴い、工場で雇われて働く賃金労働者が増加した。繊維産業(紡績業、製糸業、織物業)で働く工場労働者は特に多かった。農村各地から繊維産業に収穫にきた女性労働者(「女工」)は、前借金や寄宿舎制度によって工場に拘束され、昼夜2交代制で1日の労働時間が15時間にも及んだ。当時の日本の繊維産業が繁栄した背後には、低賃金、長時間労働という劣悪な労働環境があったのである。

劣悪な労働環境は繊維産業に限らず、多くの労働者の生活を苦しめた。それゆえ、待遇改善を求める工場労働者のストライキが各地で起こった。1897年には、労働組合期成会が結成され、日本の労働運動を指導した。さらに鉄工組合や日本鉄道矯正会などの労働組合が組織され始めた。

政府は1900年、治安警察法を制定し各種の社会運動を弾圧した。またその反面、労働者の労働条件を改善して社会を安定させることを目的に、工場法の制定を目指した。しかしながら労働者保護を目的とした工場法は、資本家などの反対にあい、その制定には時間がかかり、内容も労働者保護という観点からは不十分なものとなった。

問A 下線部Iに関する記述として誤っているものを1つマークせよ。

1. 大阪紡績会社は、輸入した紡績機械や蒸気機関によって大規模経営に成功した。
2. 綿糸の輸出量は、1897年に輸入量を超過した。
3. 生糸の製造は、器械製糸の登場によって大幅に増加した。
4. 三井・三菱(岩崎)・古河などは、官営事業の払い下げによって財閥に成長した。
5. 官営八幡製鉄所は、イギリスの技術を導入して操業を開始した。

問B 下線部IIに関する記述として誤っているものを1つマークせよ。

1. 『職工事情』は、農商務省が繊維工業・軽工業などの労働事情を調査したものである。
2. 鉱山や建設業の工事現場には飯場(はんば)が設けられ、飯場頭によって労働者の管理が行われた。
3. 『日本之下層社会』を著したのは横山源之助である。
4. 女工が待遇改善等を要求した雨宮製糸ストは、日本で最初のストライキといわれている。
5. 雑誌『日本人』で劣悪な労働事情が明らかにされたのは、足尾銅山である。

問C 下線部ハに関する記述として誤っているものを1つマークせよ。

1. 労働組合期成会は、高野房太郎や片山潜らによって結成された。
2. 労働組合期成会が発行した機関誌は、『労働組合』である。
3. 鉄工組合は、主に関東地方の砲兵工廠、造船所の鉄工によって組織された。
4. 日本鉄道矯正会は、日本鉄道機関方争議に勝利して組織された労働組合である。
5. 労働運動を指導した片山潜は、社会民主党の結成に参加した。

問D 下線部ニに関する記述として誤っているものを1つマークせよ。

1. 第2次山県内閣によって公布された。
2. 労働者のストライキ権のみならず、団結権も制限した。
3. これによって、労働組合期成会は衰退し、消滅した。
4. これによって、社会民主党は1907年に解散を命じられた。
5. 1945年まで廃止されなかった。

問E 下線部ホに関する記述として誤っているものを1つマークせよ。

1. 1911年に制定されたが、実施にはさらに5年を要した。
2. 1日の就業時間を少年は10時間、女性は12時間とした。
3. 少年及び女性の深夜業を禁止した。
4. 適用対象は、従業員が15人以上の工場であった。
5. 製糸業や紡績業の就業時間に一定の適用除外が認められた。

II 1872年に公布された学制によって、義務教育が次第に普及した。しかし、政府による画一的な政策に対する批判から、1879年に ヘ¹ が公布された。ヘ² では、全国画一の ト³ を廃止し、町村が小学校の設置単位とされ、地方に管理の権限が移管された。

その後の試行錯誤を経て、当時の文部大臣である チ⁴ のもとで、小学校・中学校・師範学校・帝国大学などからなる学校体系が1886年に整備された。小学校・中学校・師範学校はそれぞれ リ⁵ ・高等の2種類に分けられ、リ⁶ 小学校（3～4年）が義務教育とされた。

その後次第に教育政策は国家主義重視へと変化し、1890年に発布された ヌ⁷ によって、忠君愛国が強調された。さらに1903年には、文部省が著したもののだけが小学校の教科書となる国定教科書が定められた。

問F 空欄ヘに該当する語句を記述解答用紙の解答欄に漢字3字で記せ。

問G 空欄トに該当する語句を記述解答用紙の解答欄に漢字3字で記せ。

問H 空欄チに該当する人名を記述解答用紙の解答欄に漢字で記せ。

問I 空欄リに該当する語句を記述解答用紙の解答欄に漢字2字で記せ。

問J 空欄ヌに該当する語句を記述解答用紙の解答欄に漢字4字で記せ。

6 次の文章を読んで、下記の設問（A～I）に答えよ。

1950年代半ばから始まる日本の高度経済成長期は、ロ¹、年功序列賃金、企業別労働組合に象徴される「日本的経営」が機能した時期でもあった。

しかし、1974年、第1次オイルショックの影響により、ハ²スタグフレーションとよばれる現象が生じ、高度経済成長は終焉を迎えた。当時の政権は田中角栄内閣である。その後、日本経済は、減量経営などを通じて安定成長へと移行する。

安定成長の中で、公的部門の肥大化が問題とされ、1980年代初頭の鈴木善幸内閣では、「ホ³なき財政再建」の

方針のもとで行財政改革への動きが進展した。鈴木内閣に続く中曽根康弘内閣は「戦後政治の総決算」を掲げ、各種の施策を実行した。

ところで、日本が経済大国へと発展する過程では、対外経済摩擦が生じた。アメリカでは、1980年代前半に「ト」の赤字」が急速に拡大し、それが1985年9月の「チ」へとつながった。ドル高是正などを盛り込んだ「チ」を受けて、円高が加速するとともに、日本には内需拡大策の発動が求められた。また、日米間の貿易摩擦では、日本製品の輸出量を自主的に規制する措置がとられることがあった。

問A 下線部イの説明として、正しいものを1つマークせよ。

1. 白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫は、「いざなぎ景気」の時期に普及し始めた。
2. 「なべ底不況」から脱し、次に「オリンピック景気」と呼ばれる好況が生じた。
3. 「岩戸景気」をきっかけとして高度経済成長が始まった。
4. 「証券不況（昭和40年不況）」への対策として戦後初の赤字国債が発行された。
5. 「神武景気」は高度経済成長中で最長の好況期にあたる。

問B 空欄口に該当する語句を記述解答用紙の解答欄に漢字4字で記せ。

問C 下線部ハの説明として、正しいものを1つマークせよ。

1. 物価の動きと経済成長が同時に止まる現象
2. 物価の下落と好況が同時に発生する現象
3. 物価の下落と不況が同時に発生する現象
4. 物価の上昇と好況が同時に発生する現象
5. 物価の上昇と不況が同時に発生する現象

問D 下線部ニの当時の出来事として、正しいものを1つマークせよ。

1. 公害や環境問題に対応するために、環境庁が設置された。
2. 国土の総合的な開発を図るために、国土庁が設置された。
3. 日本と中国の国交回復により、日中平和友好条約が締結された。
4. 日本とアメリカの間で結ばれた沖縄返還協定にもとづき、沖縄の返還が実現した。
5. 防衛費を国民総生産の1%以内に抑制することが閣議決定された。

問E 空欄ホに該当する語句を記述解答用紙の解答欄に漢字2字で記せ。

問F 下線部ヘの当時の出来事として、正しいものを2つマークせよ。

1. 電電公社、専売公社、国鉄の民営化が実施された。
2. 国際平和協力法（PKO法）が成立した。
3. 臨時教育審議会が設置された。
4. 税率3%の消費税が導入された。
5. 第2次臨時行政調査会が設置された。

問G 空欄トに該当する語句を記述解答用紙の解答欄に漢字2字で記せ。

問H 空欄チに該当する語句を記述解答用紙の解答欄に5字で記せ。

問I 下線部リについて、日本の自動車輸出をめぐる日米貿易摩擦では、輸出台数を自主的に制限する措置がとられた。輸出自主規制のもとで収益を確保するために、自動車業界はどのような対応を行ったかを、記述解答用紙の解答欄に40字以内で記せ。なお、句読点も1字として数えよ。

〔以下余白〕